

# 行きつけない隠れ名店

第七十三回

創業は意外と古く1999年。もともとは移動野菜販売をしていましたが「寒いから暖をとりたくてね」とヤキモを扱いだしたんですつて。ちょうど可愛らしいキッカケですが、全国のサツマイモをそれぞれ旬によって使い分けて、ホクホク系としつとり系に分類しながら販売。銘柄は店内の壁にずらりと書き並べられていて、まるで日本酒の取り揃えのよう。うわわ、さす

ぎも屋さんを訪問しました。

創業は意外と古く1999年。もともとは移動野菜販売をしていましたが「寒いから暖をとりたくてね」とヤキモを扱いだしたんですつて。ちょうど可愛らしいキッカケですが、全国のサツマイモをそれぞれ旬によって使い分けて、ホクホク系としつとり系に分類しながら販売。銘柄は店内の壁にずらりと書き並べられていて、まるで日本酒の取り揃えのよう。うわわ、さす

ぎも屋さんを訪問しました。

創業は意外と古く1999年。もともとは移動野菜販売をしていましたが「寒いから暖をとりたくてね」とヤキモを扱いだしたんですつて。ちょうど可愛らしいキッカケですが、全国のサツマイモをそれぞれ旬によって使い分けて、ホクホク系としつとり系に分類しながら販売。銘柄は店内の壁にずらりと書き並べられていて、まるで日本酒の取り揃えのよう。うわわ、さす

ぎも屋さんを訪問しました。

創業は意外と古く1999年。もともとは移動野菜販売をしていましたが「寒いから暖をとりたくてね」とヤキモを扱いだしたんですつて。ちょうど可愛らしいキッカケですが、全国のサツマイモをそれぞれ旬によって使い分けて、ホクホク系としつとり系に分類しながら販売。銘柄は店内の壁にずらりと書き並べられていて、まるで日本酒の取り揃えのよう。うわわ、さす

ぎも屋さんを訪問しました。

創業は意外と古く1999年。もともとは移動野菜販売をしていましたが「寒いから暖をとりたくてね」とヤキモを扱いだしたんですつて。ちょうど可愛らしいキッカケですが、全国のサツマイモをそれぞれ旬によって使い分けて、ホクホク系としつとり系に分類しながら販売。銘柄は店内の壁にずらりと書き並べられていて、まるで日本酒の取り揃えのよう。うわわ、さす

ぎも屋さんを訪問しました。

創業は意外と古く1999年。もともとは移動野菜販売をしていましたが「寒いから暖をとりたくてね」とヤキモを扱いだしたんですつて。ちょうど可愛らしいキッカケですが、全国のサツマイモをそれぞれ旬によって使い分けて、ホクホク系としつとり系に分類しながら販売。銘柄は店内の壁にずらりと書き並べられていて、まるで日本酒の取り揃えのよう。うわわ、さす

ぎも屋さんを訪問しました。

創業は意外と古く1999年。もともとは移動野菜販売をしていましたが「寒いから暖をとりたくてね」とヤキモを扱いだしたんですつて。ちょうど可愛らしいキッカケですが、全国のサツマイモをそれぞれ旬によって使い分けて、ホクホク系としつとり系に分類しながら販売。銘柄は店内の壁にずらりと書き並べられていて、まるで日本酒の取り揃えのよう。うわわ、さす



森崎 博之 (39歳)

1971年北海道東川町生まれ。1996年、大泉洋・安田顕・戸次重幸・音尾琢真とともに演劇ユニット「TEAM NACS」を旗揚げ。多彩な個性派集団をまとめるリーダーとして作・演出・出演をこなしています。

2011年は「TEAM NACS 15th project『5D-FIVE DIMENSIONS』」と題してTEAM NACS結成15周年を5人5様で表現します。森崎さんは5月に舞台「LOOSER6」を脚本・演出・出演します。詳細はTEAM NACS公式サイトへ(<http://www.teamnacs.com/>)

定山渓に向かうとき、石山通の両側にいつも気になる店が何店かあって困っちゃいます。いつも車から眺めていて寄りたくなる誘惑がいっぱい。今回はその中から一軒、川沿を走っていると右側に出てくるヤ

キイモ屋さんを訪問しました。

取材時は「安納紅(あんのうべに)」と「べにはるか」という2種類が出していました。「安納紅」はホクホクでさっぱりした食べ応え。「べにはるか」はしっとり蜜の味。とくに今回は「べにはるか」に注目して取材させていただきました。千葉から届いた芋はまず店内で1週間熟成。皮の色が濃く鮮やかになら、蒸窯でじっくり焼いて旨味を引き出します。ガスで1時間ほど焼くんですが、火力は芋の品種によつてまちまち。芋の産地によって違うこともあります。芋はヤキイモつくり光っています。はふ、はふ、はむ！アチ、アチ、甘い！蜜感たっぷりで、後味あつさり。実はヤキイモつくり今までそれほど興味なかつたのですが、これはもう大好物になつてしまふ。このお客様を大切にして、その子供にも受け入れてもらえるよ



▲取材中も多くの常連さんが店を訪れていました。常連さんの意見をしっかり聞いて反映させる姿勢に頭が下がります。店を出る時にはお客様みんなが笑顔になっちゃう秘密がありました！ぜひお店を訪問して確かめてみて下さいね

（編集部より）  
さて、このお店はどこ？

このコラムに登場する隠れ名店に「行きつけた」読者の方には、嬉しいサービス特典があります。文章や写真を手がかりに、お店を探してみませんか？来店時に「じゃらん5月号の森崎さんコラムを見ました！」と申し出してください。当たっていた場合のみ、5月19日(木)まで特典を受けられます。

さて、前回の餡の隠れ名店には行きつけましたか？正解は「餡処北の華(函館市幸町1／☎0123・23・5126)」でした！

さて、このお店はどこ？